

令和4年度 下田地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

総括表		
◆ 事業計画		
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性 包括担当エリアは、日吉地区の西部に位置しており、高齢化率も23%を超えております。さらに認知症の方(特に認知症自立度Ⅱ以上の方)の割合も増加傾向にあります。このことから、地域住民に対して、認知症に関する理解や啓発を促進し、地域住民の支え合いを支援する必要があります。 (JAGESによる地域診断の結果からも、「うつ」「認知症」「閉じこもり」のリスクが高まることも予想されている。) また一方で、若い世代の転入出も多く、0～64歳の人口は、数年前より減少傾向となっています。子育て世代については、慣れない土地での生活に不安を感じる親も多いことから、それに伴って、地域の子育て支援活動が活発な地域でもあります。 地理的な面でも、山坂が多く、車両の通行困難な細道が幾筋もあることから、今後高齢化が進むにつれて、外出や買い物等に対するリスクも高まることから、日々の生活支援に関する取り組みも必要と考えます。 このような状況を踏まえて、今年度も引き続き、以下の重点的な取り組みとして、まずは、地域ケアプラザの基本的な機能や役割をしっかりと地域住民に理解してもらい、地域の関係団体や住民等と共に各分野ごとの事業を進めていきます。 なお、新型コロナウイルスの影響により、在宅生活を長期的に強いられている要援護者の把握も随時行いながら、フレイル予防のための活動を重点的に行う必要性もあると考えます。		
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組		
新規	継続	
一具体的な取組内容一		
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	「住民主体の地域づくりの推進体制の構築」 既存の会議や活動へ参加しながら、地域住民との関係強化に努め、課題の共有を図る。 ・各地区の地域ケア委員会、民児協し地域づくりの後押しをする。 ・町内会・地区社協活動等・ボランティア連絡会 など地域の活性化に寄りたい方との協議の場を設ける。 ・身近な困りごとをちょボラ的に手伝ってくれる「お助け隊(仮)」が組織できるよう検討する。 ・ケアプラザ主導で公園体操などを継続し参加者の中から担い手側になってもらえる方へのスカウトをしていく。 ・講座参加者からボランティアを発掘し、事業や地域活動へとつなげる。 ・よろず相談室的な場を設けるための骨格作り(勉強会等)を始める。 ・地域食堂の活動を支援し、地域の担い手を発掘する ・おしゃべり九官鳥を下田エリアで継続的に開催し、担い手の発掘・育成とサポーターを増やしていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	「地域ケアプラザの場を生かした支援」 ・どなたでも参加でき、参加者同士で支え合いながら、会を運営できるグループを立ち上げ、支援していく。 ・既存団体の支援ができるボランティアを、事業等を通じて発掘や育成し、構成員の新たな一員としてコーディネートする。 ・近隣の畑を借り、農作業を通じて参加者同士が支え合えるような屋外での事業を継続する。(畑プロジェクト) ・各サークルの活動制限や外出を控えていたこと等、参加者の高齢化で運営が困難になっている状況あり。今後、支援をする資源(後方支援隊など)を検討したい。 ・事業を通じて参加者とボランティアの交流も図れるよう工夫する。 ・新たなサークル活動の参加者等には、CPの事業のボランティア活動等を随時紹介し、サークルの社会資源化を図る。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	「地域ケア会議」 ・個別ケースの検討を行い、地域課題の把握に努める。 ・包括レベルケア会議(専門職分科会)を通じて、顔の見える関係作りや、地域の担い手発掘や育成等に活かしていく。 ・ケアマネジャーとの連携の場を活用し、地域課題の把握や個別レベル地域ケア会議を協働して開催する。 ・身近な課題として捉えてもらえるよう、小さな圏域で包括レベル会議を開催する。(民児協エリア)
◆ 事業報告・事業実績評価		
<input type="checkbox"/> 振り返り		
今年度もコロナ禍による影響で各種事業の制約がある中でも、ケアプラザとしてできることを積極的に取り組みました。 《主な取り組みとして》 ○住民主体の地域づくりの推進体制の構築 ・下田地区民生委員から相談を受け、地域の小学生を対象にしたイベントを企画し、開催に向け活動を支援した。 ・ラジオ体操を継続的に開催する事により近隣住民同士で声を掛け合い、一人暮らしの方や転居して日が浅い方も集う場となり、参加者同士の交流やフレイル要望の一助になった。 ・ラジオ体操を継続することが、町会主催のラジオ体操開催に向けてのきっかけとなることができた。 ・畑プロジェクトは、大きなトラブルもなく3年目を迎えることができた。事業をきっかけに、自身の生きがいを見つけた方や、ケアプラザの事業への参加・ボランティアをするなど、各自が生き生きと生活できているように感じている。 ○地域ケアプラザの場を生かした支援 ・相談時のケースや家族の状況に合わせた受診先の情報提供を行い、不安等の軽減に努めることができた。 ・認知症当事者及び家族に下田メモリーカフェや介護者のつどいを紹介し、孤立化しないよう働きかけができた。 ・ケアプラザプラザ事業に協力して下さるボランティア向けに認知症の理解を促す機会を調整中。 ・メールでのやり取りを希望される方や遠方の家族と相談が増えている。こちらの意向することの共有など難しさを感じているが、今後ICTも活用したより良い方法・工夫を考えていく。 ・キャラバンメイトと共にサポーター養成講座を企画し、地域への普及啓発活動を展開することができた。 ○地域ケア会議 ・包括レベル地域ケア会議を通じて、各地区共通のテーマとなっている「自助、共助、公助」の考えの下で、地域の現状や課題を共有し、「できていること」や「これからやってみたいこと」等を話し合い、今後地域でどのような支え合いの意識や活動ができるかを考えていただくきっかけの場となった。(11月に日吉町地区で開催)		
<input type="checkbox"/> 区からのコメント		
・畑プロジェクトやセカンドライフカレッジ、ラジオ体操などの多様な取組が、住民が地域活動に参加するきっかけとなっています。また、その後もケアプラザの事業への参加・ボランティアなど、地域で継続して活躍されています。 ・コロナ禍で外出の機会が減少し、住民同士のつながり・支え合いがより重要になっています。ひとつとプラン港北等の会議でも、地域の重点課題を区民の皆様と共有しながら、課題解決が進むよう取り組みたいと思います。引き続きご協力をお願いします。 ・感染症対策を実施しつつ、地域の関係団体や住民と連携し、フレイル予防をはじめとした様々な活動に積極的に取り組んでいます。取組の一層の推進のため、引き続き区役所などの関係機関と連携強化を進めていただきたいと思います。		

令和4年度横浜市下田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組 計画	<p>指定管理者としての公正・中立性や福祉に携わる者として、法人倫理規定その他の方針・指針、毎年実施する「利用者アンケート」等を活用し、人権意識や維持向上に努めます。なお、各種ミーティングや事例検討の場も、自らの姿勢の振り返りの機会として役立てます。</p> <p>また、日々得られる情報についても、施設独自の広報紙やホームページをはじめ、SNS等の様々な情報発信媒体を利用することや、地域の会合や事業などにも参加して、直接の対話も心掛けながら、情報発信できるように努めます。さらに、施設利用に関しても、貸館や自主事業に誰もが分かりやすく利用参加できるよう、定例会議等を活用して、常に利用者への対応方法等を話し合い、適宜修正改善を重ねながら、利用者本位の施設を目指します。</p>	<p>・施設内における定例の各種会議や事故防止委員会の場で振り返りや対策等を随時検討します。また、日々の職員ミーティングの場でもヒヤリハット他細かな気付きも含めた情報を共有し、意識の高揚と事故防止に努めます。</p> <p>さらに、横浜市より定期的に配信される、市内の事故報告や法人内事業所の事故事例やヒヤリハット等も事故防止対策として活用します。</p> <p>・法令及び法人の個人情報規定に基づき、適切に対処すると共に、内部の各種会議等の場を活用して、全職員への研修を行い、注意喚起と意識啓発に努めます。また、定期的にマニュアルの点検も併せて行っていきます。</p>
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・法人倫理規程その他の方針・指針、「利用者アンケート」等を活用した内部研修を実施。 ・法人の人権委員会(虐待防止委員会)主催の研修を全職員参加。(今年度は虐待防止研修) ・随時部門会議や事例検討(ケースに関する情報交換を含む)の場を通じて、職員同士、自らの姿勢や取り組みの振り返りの機会とする。 ・法人・施設広報紙やホームページ、運営協議会等において、地域の方々に向けた情報提供に努めました。 ・ツイッターを有効活用し、随時タイムリーな情報発信を心掛けました。 ・新型コロナウイルスの影響による貸館事業のルール変更内容等に対して、各団体に向けて一律に周知と説明を丁寧に行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々、ヒヤリハットも含めて職員間で情報を共有し、月例の部門別会議や事故防止委員会で対策検討等を行いながら事故の再発防止に努めました。 ・個人情報漏洩防止のため、業務手順・体制を定めながら、日々の業務を実践しています。 ・郵送やFAX送信時の際は、手順等を各職員が確認し合いながら行い、誤発送、誤送信の防止に努めました。 ・全職員を対象に個人情報漏洩防止研修を実施し、意識啓発に努めました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	本人の思いどおりの生活が送れるよう実現可能な目標に向かって、できないことを補うのではなく、本人の行動変容につながるよう環境を整え、生活機能低下の背景を分析・課題を明らかにして、悪循環から好循環に転換できるように支援します。また、地域の特性を活かした仕掛けづくりを考え地域力を高めていきます	利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者が自立した日常生活を営むことができることを目標として、居宅サービス計画を作成し、サービスを総括的効率的に提供するための連絡調整を行います。
利用料金・実費負担	通常のサービス提供地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費(実費)の支払いをお願いすることがあります。	通常のサービス提供地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費(実費)の支払いをお願いすることがあります。
職員体制	主任介護支援専門員:1人 社会福祉士:1人 看護師:1人 介護支援専門員:2人(非常勤)	介護支援専門員 2人(常勤専従2人)
契約者数	222名	70名

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	利用者が自立した日常生活を営むこと及び利用者の家族の負担を軽減することを目標に、利用者の心身の特性を踏まえ、その能力に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行うとともに、機能訓練を実施します。また、利用者の家族に対し、必要に応じて、介護方法等について助言します。		
実施体制	【実施日数】 週7日 【提供時間】 9:15~16:20 【定員】 40人	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担	<ul style="list-style-type: none"> ●1割負担分(サービス提供体制加算Ⅱ・中重度者ケア体制加算を含む) (要介護1) 824円/回 (要介護2) 951円/回 (要介護3) 1,085円/回 (要介護4) 1,218円/回 (要介護5) 1,352円/回 ●認知症加算1割負担分 65円/回 ●入浴加算1割負担分 43円/回 (2・3割負担のご利用者からは2・3倍額いただきます) ●介護職員処遇改善加算 総額の2.3% ●食費負担 750円/食 ●通常に事業実施地域を越えて送迎を行う場合の交通費越えて 1km(道程)まで片道 100円 2kmまで 200円 4kmまで 300円 4km超 400円 ●特別な行事等に係る経費については、事前に説明した上で、希望者にご負担いただきます。 		
職員体制	生活相談員兼介護職員:3人 看護職員:4人 介護職員:16人 運転手:7人		
契約者数等	【延べ利用者数】 8,427名 【契約者数】 79名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和4年度「横浜市下田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,766,834	196,870	17,963,704	17,906,225	57,479	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	87,000	△ 87,000	食事も ミニデイ 親子芋ほり参加費他
横浜市による運営支援				710,000	△ 710,000	物価高騰の影響を踏まえた横浜市による運営支援
雑入	0	0	0	5,638	△ 5,638	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	2,843	△ 2,843	
その他			0	2,795	△ 2,795	コピー代 公衆電話使用料
その他	3,727,411		3,727,411	3,613,177	114,234	施設使用料相当額
収入合計	21,494,245	196,870	21,691,115	22,322,040	△ 630,925	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,690,245	0	12,690,245	10,216,866	2,473,379	
本俸	9,390,245		9,390,245	6,896,521	2,493,724	職員 非常勤職員 本俸
社会保険料	1,100,000		1,100,000	984,374	115,626	社会保険料 事業主負担分
手当計	1,900,000		1,900,000	2,050,922	△ 150,922	職員調整 通勤 超勤手当 賞与
健康診断費	60,000		60,000	27,728	32,272	健康診断費
勤労者福祉共済掛金	40,000		40,000	9,750	30,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000	86,258	13,742	横浜市退職共済掛金事業主負担分
その他	100,000		100,000	161,313	△ 61,313	医療福祉機構退職共済掛金
事務費	749,960	0	749,960	1,316,900	△ 566,940	
旅費	30,000		30,000	7,660	22,340	職員 出張交通費
消耗品費	280,000		280,000	122,415	157,585	コピー用紙 テブラテープ他文具 トイレ紙ペーパー
会議ठी費	15,000		15,000	9,896	5,104	運営協議会 お茶代
印刷製本費			0	0	0	
通信費			0	174,865	△ 174,865	固定電話使用料 切手代
使用料及び賃借料	21,120	0	21,120	138,899	△ 117,779	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,120		21,120	0	21,120	
その他			0	138,899	△ 138,899	レンタルモップ AED 会計ソフトレンタル
備品購入費			0	21,050	△ 21,050	非接触型体温計 ゴミ箱
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	50,805	△ 805	総合賠償 指定管理総合賠償保険
職員等研修費	20,000		20,000	6,513	13,487	研修参加交通費
振込手数料	30,000		30,000	10,900	19,100	給与振込手数料 業者支払振込手数料
リース料	200,000		200,000	0	200,000	
手数料	50,000		50,000	3,740	46,260	残高証明発行手数料
地域協力費			0	3,600	△ 3,600	自治会費
その他	53,840		53,840	766,557	△ 712,717	PC コピー機リース料 保守料 社労士等顧問料
事業費	480,000	0	480,000	260,532	219,468	
運営協議会経費			0	0	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	480,000		480,000	260,532	219,468	ミニデイ 親子芋ほり CPまつり 広報発行他
その他			0	0	0	
ICT整備費（追加）	0	0	0	191,870	△ 191,870	
ICT整備費（追加）			0	191,870	△ 191,870	ミニプロジェクター ノート型PC 他
オンライン相談機器整備費（追加）	0	0	0	0	0	
オンライン相談機器整備費（追加）（モデル実施対象施設）			0	0	0	
サニタリーボックス（追加）	0	0	0	4,482	△ 4,482	
サニタリーボックス			0	4,482	△ 4,482	
管理費	6,300,000	0	6,300,000	8,901,169	△ 2,601,169	
光熱水費	3,700,000		3,700,000	5,443,288	△ 1,743,288	電気 ガス 水道料金
清掃費	1,850,000		1,850,000	2,279,215	△ 429,215	日常 定期清掃
機械警備費	150,000		150,000	122,634	27,366	機械警備費
設備保全費	600,000	0	600,000	721,047	△ 121,047	
空調衛生設備保守	300,000		300,000	297,340	2,660	空調設備点検 冷暖房切替 清掃 水質検査
消防設備保守	50,000		50,000	71,780	△ 21,780	消防設備点検
電気設備保守	80,000		80,000	74,053	5,947	電気設備 保守 年次点検
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000	30,659	△ 659	害虫駆除
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	140,000		140,000	247,215	△ 107,215	自動ドア エレベーター保守 施設総合巡視点検
共益費			0	0	0	
その他			0	334,985	△ 334,985	植栽剪定 ごみゼロルート回収 粗大ごみ他
修繕費	474,000		474,000	416,521	57,479	非常灯電池交換 自動ドア修理 蛍光灯交換
公租公課	550,000	0	550,000	1,013,700	△ 463,700	
事業所税			0	0	0	
消費税	550,000		550,000	1,013,700	△ 463,700	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	21,244,205	0	21,244,205	22,322,040	△ 1,077,835	
差引	250,040	196,870	446,910	0	446,910	

自主事業費 収入	0	0	0	87,000	△ 87,000	
自主事業費 支出	480,000	0	480,000	260,532	219,468	
自主事業 収支	△ 480,000	0	△ 480,000	△ 173,532	△ 306,468	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	2,843	△ 2,843	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,120	0	21,120	0	21,120	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 21,120	0	△ 21,120	2,843	△ 23,963	

令和4年度「横浜市下田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援・チームオレンジ＞

収入の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	24,291,000	0	24,291,000	21,281,908	3,009,092	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	44,500	△ 44,500	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	9,000	△ 9,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0	
雑入	0	0	0	5,287	△ 5,287	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	2,842	△ 2,842	
その他			0	2,445	△ 2,445	コピー代
その他			0	0	0	
収入合計	30,247,000	0	30,247,000	27,296,695	2,950,305	

支出の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,762,000	0	25,762,000	23,207,230	2,554,770	
本俸	16,180,000		16,180,000	11,824,521	4,355,479	職員本俸
社会保険料	3,450,000		3,450,000	3,140,189	309,811	社会保険料 事業主負担分
手当計	5,500,000		5,500,000	7,670,083	△ 2,170,083	職員調整 通勤 超勤手当 賞与
健康診断費	42,000		42,000	31,608	10,392	健康診断費
勤労者福祉共済掛金	40,000		40,000	23,750	16,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	350,000		350,000	366,892	△ 16,892	横浜市退職共済掛金事業主負担
その他	200,000		200,000	150,187	49,813	医療福祉機構退職共済掛金
事務費	1,250,000	0	1,250,000	1,554,360	△ 304,360	
旅費	50,000		50,000	66,980	△ 16,980	職員 出張交通費
消耗品費	350,000		350,000	59,306	290,694	コピー用紙 テプラテープ他 文具
会議贈り費			0	0	0	
印刷製本費			0	0	0	
通信費	350,000		350,000	228,458	121,542	携帯電話 固定電話利用料 切手代
使用料及び賃借料	0	0	0	77,436	△ 77,436	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	77,436	△ 77,436	会計ソフトレンタル ごみ箱 携帯電話
備品購入費			0	51,300	△ 51,300	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	50,805	△ 805	総合賠償 指定管理総合賠償保険
職員等研修費	50,000		50,000	64,223	△ 14,223	研修参加費 研修参加交通費
振込手数料	30,000		30,000	15,327	14,673	給与 業者支払 振込手数料
リース料	340,000		340,000	0	340,000	
手数料	30,000		30,000	440	29,560	残高証明発行手数料
地域協力費			0	0	0	
その他			0	940,085	△ 940,085	PC コピー機リース料 人材紹介手数料 他
事業費	1,119,000	0	1,119,000	264,487	854,513	
協力医	630,000		630,000	21,000	609,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	255,000		255,000	291	254,709	ケアカンファレンス用カラー用紙
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	192,010	△ 38,010	スクエアステップ ロコ予防 ヨガ体験 畑プロジェクト
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	80,000		80,000	51,186	28,814	セカンドライフ 地域アセスメント
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0	
その他			0	0	0	
管理費	1,820,000	0	1,820,000	2,366,117	△ 546,117	
光熱水費	1,000,000		1,000,000	1,446,949	△ 446,949	電気 ガス 水道光熱費
清掃費	570,000		570,000	605,865	△ 35,865	日常 定期清掃
機械警備費	50,000		50,000	32,598	17,402	機械警備費
設備保全費	200,000	0	200,000	191,661	8,339	
空調衛生設備保守	85,000		85,000	79,036	5,964	空調設備点検 冷暖房切替 清掃 水質検査
消防設備保守	15,000		15,000	19,080	△ 4,080	消防設備点検
電気設備保守	20,000		20,000	19,683	317	電気設備 保守 年次点検
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	8,149	1,851	害虫駆除
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	70,000		70,000	65,713	4,287	自動ドア エレベーター保守 施設総合巡視点検
共益費			0	0	0	
その他			0	89,044	△ 89,044	植栽剪定 ごみゼロルート回収 粗大ごみ他
修繕費	126,000		126,000	110,719	15,281	
公租公課	170,000	0	170,000	0	170,000	
事業所税			0	0	0	
消費税	170,000		170,000	0	170,000	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	30,247,000	0	30,247,000	27,502,913	2,744,087	
差引	0	0	0	△ 206,218	206,218	

自主事業費 収入	0	0	0	53,500	△ 53,500	
自主事業費 支出	489,000	0	489,000	243,487	245,513	
自主事業 収支	△ 489,000	0	△ 489,000	△ 189,987	△ 299,013	
管理許可 目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	2,842	△ 2,842	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可 目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可 目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	2,842	△ 2,842	

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市下田地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	5,200	5,616		6,300	5,826	474	17,000	11,913	5,087	69,000	75,341	-6,341	2,000	1,571	429
	その他	0	0	0	0	60	-60	0	60	-60	16,300	18,643	-2,343	700	438	262
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
	利用料金			0			0			0	8,600	10,131	-1,531	400	214	186
	利用者食事代収入			0			0			0	5,700	5,936	-236	300	224	76
	利用者他食事代収入			0			0			0	2,000	1,246	754			0
	補助金事業収益			0		60	-60		60	-60		1,274	-1,274			0
	その他			0			0			0		56	-56			0
	収入合計(A)	5,200	5,616	-416	6,300	5,886	414	17,000	11,973	5,027	85,300	93,984	-8,684	2,700	2,009	691
	支出	人件費			0	5,000	5,836	-836	15,000	10,658	4,342	66,090	65,721	369		
事務費				0	122	477	-355	1,010	996	14	2,957	4,649	-1,692			0
事業費				0			0			0	8,220	8,217	3			0
管理費				0			0	250	161	89	13,830	12,284	1,546			0
その他		1,000	1,585	-585	2,500	2,510	-10	0	0	0	6,231	5,321	910	0	0	0
利用者負担軽減額				0			0			0			0			0
消費税				0			0			0			0			0
介護予防プラン委託料		1,000	1,585	-585	2,500	2,510	-10			0			0			0
利用者他給食費				0			0			0	2,450	1,610	840			0
施設利用料相当控除額				0			0			0	3,781	3,613	168			0
減価償却費			0			0			0		98	-98			0	
その他			0			0			0			0			0	
支出合計(B)	1,000	1,585	-585	7,622	8,823	-1,201	16,260	11,815	4,445	97,328	96,192	1,136	0	0	0	
収支(A)-(B)	4,200	4,031	169	-1,322	-2,937	1,615	740	158	582	-12,028	-2,208	-9,820	2,700	2,009	691	

令和4年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども 青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	公園でラジオ体操	令和2年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	新型コロナウイルスによる自粛期間が長期化したことによる筋力の低下を防ぐほか、地域の住民の情報交換の場として下田4丁目公園を会場に実施。	5:地域		ラジオ体操の実施	77	1,859
2	子育てサロンすつぷ	平成15年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て経験の浅い親とその子供たちをお互いの対象とし、子供たちを遊ばせながら情報交換の場を提供するとともに子育ての知識を獲得する機会の場を提供する。	3:養育者及び乳幼児		子育てサロン(情報交換のつどい)	24	300
3	喫茶マロニエ亭	平成13年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	地域の自立高齢者を主な対象に社会性を保つための外出先の確保と身近な健康チェックを提供する。	1:高齢者		自立高齢者向けミニデイサービス	21	134
4	おはなしもた	平成27年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	心の病を抱え外出先や悩みの吐き出し先を求めながら生活支援センターまでは通えない当事者や家族が集うサロン。	2:障害児者		精神講座「こころの病について」	4	23
5	認知症キャラバンメイト「おしゃべり九官鳥」	平成30年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	認知症キャラバンメイトと共にサポーター養成講座を開催し地域住民へ認知症に対する理解を深めると共にサポーターとして支える側になってもらうよう、講座を企画・運営する	5:地域		認知症サポーター養成講座の企画・運営	3	25
6	イスに座ってリズム体操	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	新型コロナウイルスによる自粛期間が長期化したことによる筋力の低下を防ぐ目的で、イスに座ってでもできる体操を紹介する。	1:高齢者		新型コロナウイルスによる自粛期間が長期化したことによる筋力の低下を防ぐ目的で、イスに座ってでもできる体操を紹介する。	4	70
7	御食事処すずらん	平成15年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域の独居高齢者等を主な対象に社会性を保つための外出先の確保とバランスの良い食事を提供する。※令和2年度はケアプラザ主催	1:高齢者		独居高齢者食事会	10	61
8	下田メモリーカフェ	平成29年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症のある方の通いの場、家族同士の情報交換、相談の場、支援をする方を含めた地域住民に認知症理解の浸透の場を提供	1:高齢者		ボランティア下田、地域のボランティアと共に開く認知症カフェ	10	96
9	冬休み書初め練習教室	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域ケアプラザが高齢者だけの施設ではない事を周知するとともに、学校の長期休暇を利用し、児童生徒が参加できる交流の場を提供。	4:子ども・青少年		冬休みの宿題である「書初め」の練習	1	27
10	下田式事例検討会	平成30年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	平素より関わりのあるケアマネジャー同士のスキルアップや情報交換等を目的とした事例検討会を実施	6:事業者		参加者に事例を提供してもらい、その事例をもとに「バーソン・セントード・アプローチ」という手法で、事例検討会を実施。8月を除く偶数月の第4週木曜日に実施	2	26
11	ひよしもケアマネ倶楽部	令和元年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	日吉地区の居宅介護支援事業所と協働で、スキルアップのための勉強会を実施	6:事業者		参加の居宅介護支援事業所と年間テーマを決め、勉強会を実施。今年度は講師招き、アローチャートを行った。	1	33
12	しもだ畑プロジェクト	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	コロナ禍において3密を避けつつ、住民同士の交流ができる場として農業活動を企画。	5:地域		前期・後期に分け農業活動を実施	37	146
13	親子de芋ほり体験会	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	未就園児とその保護者を対象に外出先を提供。6月にジャガイモ・10月にサツマイモの収穫を計画	4:子ども・青少年		お芋ほり	2	89
14	セカンドライフカレッジ2022	平成30年度	6:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	包括レベルケア会議にて抽出された課題に対応する為に定年後の男性が閉じこもらずに地域を知るきっかけを提供し、男性の地域デビューを支援する。	5:地域		第4期生として企画・募集を行う。今年度は男性に限定せず日吉地区在住で70歳前後の男女を対象とする	5	36

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども 青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
15	家族で作ろう！七夕飾り	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子のふれあい及び親同士の交流の場を提供する。新型コロナウイルスの感染予防をしたうえで多目的ホールにて開催。対象は未就学(6歳まで)の子供とその親	4:子ども・青少年		七夕の飾りつくりとパネルシアター	1	18
16	行政書士相談会	平成21年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	行政書士による無料巡回相談会。成年後見や遺言相続についての相談対応。	5:地域		成年後見相談会	1	4
17	成年後見セミナー	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民に対して成年後見制度に関する普及啓発	5:地域		成年後見の講演会	1	10
18	パパの体験赤ちゃん会	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	日吉地区およびその周辺に住む第1子の0歳児を持つパパを対象に参加者同士の交流やミニシアターなど。パパのネットワークが作れるきっかけを提供する。	4:子ども・青少年		パパ同士の交流会	1	17
19	気軽に健康大作戦！	令和4年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	コロナ禍において外に出る機会が減ったことにより、運動機能の低下やご近所同士の交流も少なくなってきた事を受けて、ケアプラザを会場とした簡単な脳トレやセルフケアの講座を企画し、参加者の健康維持と交流をはかる	1:高齢者		「まちの先生」より、詩吟・お灸・折り紙の講師を呼び、全3回の講座を実施	3	44
20	イスヨガ	令和4年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	筋力の低下を防ぐ目的で、高齢の方でもイスに座ってできるヨガを紹介する。	1:高齢者		イスに座ってできるヨガ	3	44
21	できていますか？オーラルフレイル予防	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	口腔機能を維持するためトレーニング方法や嚥下機能の仕組みについて講義。	1:高齢者		フレイル予防	2	24
22	心のバリアフリープロジェクト	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	港北区内の法人4館による障がい理解への普及を目的に各館ごとに企画。下田ケアプラザでは港北区生活支援センターによる障がいについての講義とリンデン・カフェ社の代表による施設の概要と利用者の体験談を発表	2:障害児者		心の病についての普及啓発	1	16
24	ケアプラザまつり「ケアプラザへ行こう2022」	平成14年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域住民の交流の場として、ケアプラザを周知すると共に貸館利用団体の作品展示を行う。	5:地域		貸館団体の作品展示	1	50